



県は無視しないで！



県立高校統廃合問題

知事と教育長は

長浜市の提言、県議会決議、住民の声を

長浜市の提言を真摯に受け止めよ

6月12日、長浜市は県に対して「高校再編に関する提言」を行いました。市民に開かれた7回の討論を通して、つくり上げられた提言です。長浜市民はもとより滋賀県民の思いがいっぱい詰まっています。

提言は、高校再編原案(昨年7月発表)を厳しく批判しています。

新しい高校教育のビジョンがない。

子どもの教育環境の充実ではなく行財政改革を優先している。

教育現場の教職員や市町教育委員会の意見が届いていない、などです。

提言は、新たな方向を示しています。

学校現場や地域の声を反映する仕組みをつくる。

全県一学区制を検証して地域とともに高等学校をつくる。

教育の原点に立って十分な時間を確保して計画案を再検討する、などです。

これは事実上、再編原案を白紙から見直せというものです。

教育長「統廃合の

組み合わせは原案通り」

ところが、翌13日、県議会の文教・警察常任委員会で、河原教育長は「統廃合の組み合わせは原案通りとする。一部修正して遅くとも9月中旬までに案を示す」と回答しました。この発言は、長浜市の提言も地域住民の声も、さらには「少なくとも1年以上の時間をかけて検討を」とした県議会決議をも無視したものです。

「何が何でも統廃合」というむき出しの姿勢です。県議会で「長浜市や彦根市と県の溝が深まった。修復出来るのか」と詰め寄られた教育長は答弁不能になりました。

同日、私たちは、知事と教育長に次のことを強く要請しました。

長浜市の提言を真摯に受け止めること。

統廃合計画(原案)を白紙にもどすこと。

地域と県で、高校教育の現状と方向について開かれた討論の場をつくること。

県立高校再編原案(主な統廃合部分)

(2011年7月11日県教委)

長浜北高校を廃校にして長浜高校に統合
彦根西高校を廃校にして彦根翔陽高校に統合
北部定時制3校を廃止し新能登川高校(総合単位制)へ統合

信楽高校を甲南高校の分校に
瀬田高校を瀬田工業高校に統合

道理のない計画はとめよう

これまで県は、県民の「県立高校をつぶすな」の声に押されて、統廃合計画の策定を2年先送りしました。原案は示されましたが、長浜、彦根、信楽など地域住民の声が、今も計画の策定を止めています。

いよいよ3年目のたたかいです。道理のない統廃合計画を止めて、みんなの力で地域のよりよい高校をつくっていきましょう。

県は高校統廃合案を白紙に戻して検討し直せ！

県民に開かれた討論を

信楽でも、県の高校再編計画原案に、強い反対の声があがっています

6・17 総決起集会に220人
信楽高校を
分校にするな



三杉里も「たねや」社長もビデオレターで参加！



地場産業と結びついた信楽高校の未来を熱く語る、今は住職の同校卒業生。「少人数で、子どもが自分の良さを発揮し成長している。子どもと大人の思いがリンクすれば、新しいものが生まれる。大人が本気でチャレンジする姿を示すことが、分校化を止める原動力だ」と語る1年生の母親。

6月17日、信楽開発センターで開かれた「信楽高校の分校化を許さない総決起集会」には、議会関係者を含む220人を超える住民が参加しました。

甲賀市長は「分校化阻止に、体を張って頑張りたい」と力強い決意を述べました。

信楽高校に在学した、元小結三杉里の岡本さんと『たねや』社長の山本さん兄弟がビデオレターで参加。

集会では、世代を超え陶芸の町の住民の思いが1つになり分校化を止める力強い狼煙となりました。

発行 県立高校の統廃合を考える会

〒520-0052 大津市朝日が丘1-11-3
教育文化会館内

077-522-4965 Fax077-522-4978
E-mail sikokyo@yahoo.co.jp